

# DAIDO METAL

## 株主のみなさまへ

### 第107期 報告書

2014年4月1日~2015年3月31日

#### CONTENTS

株主の皆様へ .....	1
第 107 回定時株主総会決議のご通知 .....	1
連結決算ハイライト(対前期比) .....	1
営業のご報告 .....	2
事業の概要 .....	3
事業別製品の紹介 .....	3
決算の状況(連結) .....	5
業績の推移(連結) .....	6
2016年3月期 通期業績予想 .....	7
配当について .....	7
中期経営計画(Together To The Top) 進捗レポート .....	7
企業情報 .....	9
会社概要/役員 .....	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点) .....	10
株主メモ .....	11
株式に関する諸手続のご案内 .....	11



代表取締役会長  
兼最高経営責任者

判治誠吾



代表取締役社長  
兼最高執行責任者

恒山 恒太郎

## 第107回定時株主総会決議のご通知

平成27年6月26日開催の当社第107回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 報告事項

- 第107期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第107期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 定款一部変更の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 取締役6名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案 監査役3名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第5号議案 補欠監査役1名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第6号議案 役員賞与支給の件**  
本件は、原案どおり承認可決されました。

## 連結決算ハイライト(対前期比)

### 1 連結決算概要

#### 売上高

連結売上高は850億円(前期比+9.9%)となり、過去最高値を更新いたしました。  
(国内売上)

消費税増税後の自動車販売への影響があったものの、自動車関連は堅調に推移いたしました。また、非自動車分野(特に船用・建設機械用)が対前期比で受注が回復に向かったこと等から売上は前年度を上回りました。

#### (海外売上)

世界の自動車市場の伸長を背景に、円安効果もあり、アジア、北米、欧州の全地域で売上高が増加いたしました。

#### 利益面

自動車関連分野での増収効果や非自動車分野(特に船用・建設機械用)の受注回復基調などにより、営業利益は76億円(前期比+3.6%)、経常利益は81億円(同+0.8%)と前期に比べ増益となりました。当期純利益は、前年度では固定資産売却益(旧東京工場跡地売却益など8億円)の特別利益を計上したこともあり44億円(同+5.8%)と前期に比べて減益となりました。

単位：百万円（百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入）

連結 通期業績	【前期】 2014/3期	【当期】 2015/3期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	77,350	85,015	+7,665	+9.9%
営業利益 (営業利益率)	7,368 (9.5%)	7,633 (9.0%)	+265	+3.6% (△0.5P)
経常利益 (経常利益率)	8,063 (10.4%)	8,129 (9.6%)	+66	+0.8% (△0.9P)
当期純利益 (当期純利益率)	4,735 (6.1%)	4,459 (5.2%)	△275	△5.8% (△0.9P)

### 2 所在地別売上高・営業損益

#### 国内

- 堅調な自動車関連売上に加え、非自動車分野(特に大型船舶・建設機械用)の受注が回復に向かったことなどから前年実績を上回りました。
- 営業損益は、堅調であった自動車関連に加え船用の受注回復基調等の増収効果により増益となりました。

#### アジア

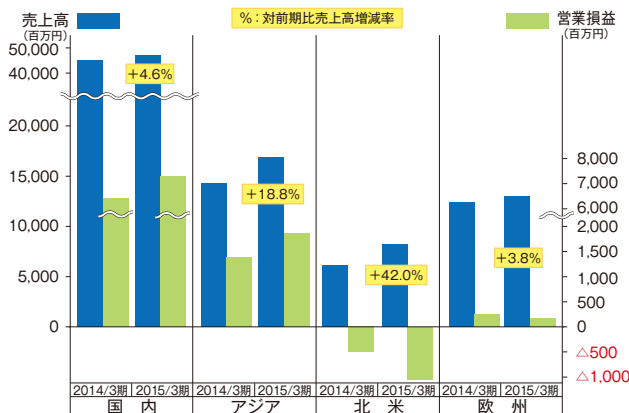
- 中国を中心に自動車関連売上が好調に推移いたしました。営業損益についても、中国・タイが牽引し増益となりました。

#### 北米

- 自動車関連及び一般建設機械ともに売上は堅調に推移いたしました。営業損益のマイナスについては、メキシコ新工場にかかる先行費用の計上等によるものです。

#### 欧州

- 自動車関連では、域内の需要回復基調や新規顧客向け納入開始等により、売上は堅調に推移いたしました。一方、船用(中小型船向け)が依然低調で推移したことなどから営業損益は減益となりました。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、当期(2015年3月期)における営業の概要についてご報告を申しあげます。

当連結会計年度における当社グループの業績につきましては、自動車関連分野は欧州及び北米のビジネス拡大や、アジア地域においても中国をはじめとした各拠点とも順調に受注を伸ばすことができ、また非自動車分野では厳しい市場環境下においても国内外での受注活動による成果に加え、円安効果などから、全てのセグメント及び地域で売上高が増加いたしました。

その結果、当社グループの連結売上高は過去最高となる850億15百万円となり、前年度に比べて76億65百万円(+9.9%)の増収となりました。

利益面につきましては、大同メタルメキシコS.A. DE C.V.の生産立ち上げによる初期先行費用の増加はあったものの、増収効果及び利益拡大へ向けた原価低減活動の強化等により、営業利益は76億33百万円と前年度に比べて2億65百万円(+3.6%)の増益となりました。経常利益は為替差益が前年度に比べ5億10百万円減少したものの、支払利息の減少(前年度対比1億70百万円減少)などもあり81億29百万円と前年度に比べて66百万円(+0.8%)の増益となりました。当期純利益は44億59百万円と前年度に比べて2億75百万円(△5.8%)の減益となりましたが、これは、前年度において旧東京工場の跡地売却益等で特別利益8億96百万円を計上したことなどによるものであります。

現在、当社グループでは、中期経営計画「Together To The Top (ともにトップを目指そう)」(2012年度～2017年度までの6ヵ年)に基づき、当計画の最終年度において、自動車用エンジン軸受や大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、すべり軸受の全分野での世界トップシェア

獲得を実現すべく、特に2012年度から2014年度までの前半3ヵ年は、設備投資によるグローバルベースでの生産能力の増強や、販売並びに技術サポートの面での組織体制の強化などを進めてまいりました。当計画の第2ステージ(2015年度から2017年度)においては、当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成、並びに『すべり軸受の全産業分野での世界トップシェア獲得』を実現させるため、メキシコ事業の黒字化、BBL大同プライベートLTD. (インド)における自動車用エンジン軸受事業の立上げ、大同メタルロシアLLCにおけるトラック用エンジン軸受及び外資系自動車メーカー向け軸受事業への取り組み、また、軸受材料であるバイメタルの生産能力増強のため2015年4月に設立した大同メタル佐賀株式会社での生産立上げなどを行い、計画に沿って着実に目標達成に向けて活動してまいります。

当社グループを取り巻く経営環境は大きく変化いたしておりますが、世界各地の市場動向やニーズに対して機敏かつ適切に対応しながら、新製品の開発、新市場の開拓に注力すると同時に、更なる生産合理化とお客様へのサービス向上を図るとともに、コンプライアンスの徹底やコーポレート・ガバナンスの体制強化に加え、平成27年3月に金融庁や東京証券取引所によって策定されたコーポレートガバナンス・コードを踏まえての社内体制の充実に向けた取り組みにより、株主の皆様をはじめお客様、従業員など様々なステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、今後ともグループ一丸となって一層の企業価値の向上に努めてまいります。

常に、DAIDO SPIRIT (夢・希望・挑戦)を忘れずに、当社グループが一丸となって勇気ある挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

## 事業の概要

軸受(メタル)とは、回転する軸を支える部品です。エンジンを始め、回転する部分がある機械には必ずといってよいほど使用されており、機械の性能を左右するほどの重要な部品です。

大同メタルが製造しているのは「すべり軸受」(プレーン・メタル、平軸受とも言う)と呼ばれる軸受で、ボールベアリングなどの「ころがり軸受」とは異なります。

一般的に「すべり軸受」は、半永久的に寿命が長く、負荷能力(支えられる重さ)は速度とともに増加し、静かで、耐衝撃性があることから、自動車、船舶、建設機械などのエンジン用軸受等に適しています。

当社は、自動車のみならず、多種多様の産業分野の軸受を手掛ける、「総合すべり軸受メーカー」です。



半割メタル



スラストワッシャー



ブシュ

## 事業別製品の紹介

### 自動車用エンジン軸受

通常、自動車のエンジン部分には1台あたり平均で約20個の軸受が使用されています。当社はこの自動車用エンジン軸受において、世界シェア約31.5% (2014年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。



### 自動車用エンジン以外軸受(自動車部品用軸受)

自動車では、エンジン部分以外にも、いろいろな場所に多くの軸受が使用されています。中でも当社は、ターボチャージャー用軸受(スモールターボ)では世界シェア約34% (2014年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。また、ショックアブソーバー用軸受においても国内で極めて高いシェアを有しています。



スロットボディ用ブシュ



ターボチャージャー用  
スラストベアリング



ターボチャージャー用  
フローティングベアリング



パワーステアリング用  
ポンプブシュ



エアコン用チップシール  
(スクロールコンプレッサー)



ラックアンドピニオン  
ステアリングブシュ



ショックアブソーバー用  
ブシュ



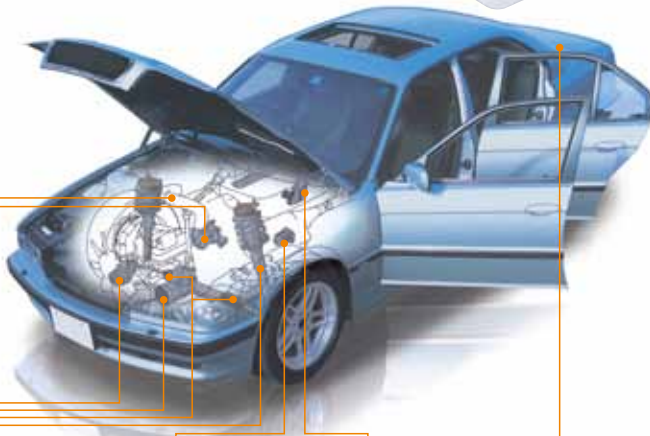
スターター用ブシュ



フロントリクライニング  
シート用ブシュ



トランクリッドブシュ/  
エンジンフードブシュ



## 建設機械・中小型船舶用軸受

ショベルカーなどの建設機械のエンジン部分・シリンダー部分や中小型船舶のエンジン部分に使用されています。当社は、建設機械・農業機械用の軸受においても国内外で高いシェアを有しています。



## 大型船舶用軸受

船舶のエンジンに用いられる軸受は、大きいものでは内径1メートルにもおよびます。当社は大型船舶用の軸受においても世界で約59%（2014年暦年当社推定）のトップシェアを有しています。



## 一般産業用軸受・その他

オフィス用機器はもとより水力・火力などの発電設備、高速車輛、鉄道事業、免震・制振装置など、多種多様な産業分野の軸受を手掛けています。また、ロータリーポンプ、集中潤滑装置など、軸受以外の潤滑技術応用製品も開発・販売しています。



## 連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別		前期 (2014年3月31日)	当期 (2015年3月31日)
資産の部	流動資産	51,743	58,755
	固定資産	52,356	57,778
	有形固定資産	45,591	50,082
	無形固定資産	1,931	1,977
	投資その他の資産	4,833	5,717
	<b>資産合計</b>	<b>104,099</b>	<b>116,533</b>
負債の部	流動負債	32,098	37,355
	固定負債	25,267	26,083
	<b>負債合計</b>	<b>57,365</b>	<b>63,439</b>
純資産の部	株主資本	38,386	41,850
	資本金	7,273	7,273
	資本剰余金	7,946	7,946
	利益剰余金	24,578	28,051
	自己株式	△ 1,411	△ 1,420
	<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>454</b>	<b>1,730</b>
	その他有価証券評価差額金	958	1,250
	為替換算調整勘定	782	1,340
	退職給付に係る調整累計額	△ 1,286	△ 860
	<b>少数株主持分</b>	<b>7,892</b>	<b>9,512</b>
	<b>純資産合計</b>	<b>46,733</b>	<b>53,093</b>
	<b>負債純資産合計</b>	<b>104,099</b>	<b>116,533</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	前期 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,975	9,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,861	△ 9,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,016	626
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	386
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,230	1,147
現金及び現金同等物の期首残高	9,196	11,427
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	-	20
現金及び現金同等物の期末残高	11,427	12,595

## 連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

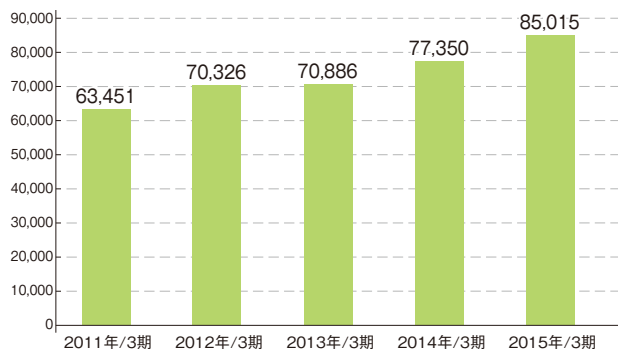
科目／期別	前期 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
売上高	77,350	85,015
売上原価	56,057	62,068
<b>売上総利益</b>	<b>21,292</b>	<b>22,946</b>
販売費及び一般管理費	13,923	15,312
<b>営業利益</b>	<b>7,368</b>	<b>7,633</b>
営業外収益	1,637	1,252
営業外費用	942	757
<b>経常利益</b>	<b>8,063</b>	<b>8,129</b>
特別利益	896	436
特別損失	17	-
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>8,942</b>	<b>8,565</b>
法人税、住民税及び事業税	2,670	3,221
法人税等調整額	492	△ 344
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>5,779</b>	<b>5,687</b>
少数株主利益	1,044	1,228
<b>当期純利益</b>	<b>4,735</b>	<b>4,459</b>

## 連結株主資本等変動計算書

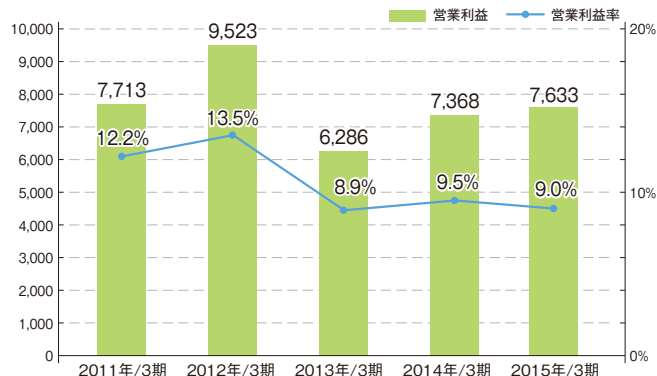
当連結会計年度（2014年4月1日～2015年3月31日） 単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	少数株主 持分	純資産 合計
<b>当期首残高</b>	<b>38,386</b>	<b>454</b>	<b>7,892</b>	<b>46,733</b>
会計方針の変更による累積的影響額	△ 190			△ 190
会計方針の変更を反映した当期首残高	38,195	454	7,892	46,542
<b>当期変動額</b>				
剰余金の配当	△ 796			△ 796
当期純利益	4,459			4,459
自己株式の取得	△ 8			△ 8
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		1,276	1,619	2,896
<b>当期変動額合計</b>	<b>3,655</b>	<b>1,276</b>	<b>1,619</b>	<b>6,551</b>
<b>当期末残高</b>	<b>41,850</b>	<b>1,730</b>	<b>9,512</b>	<b>53,093</b>

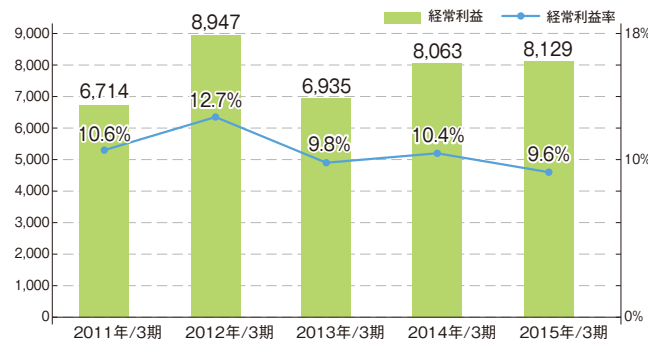
## ◆ 売上高



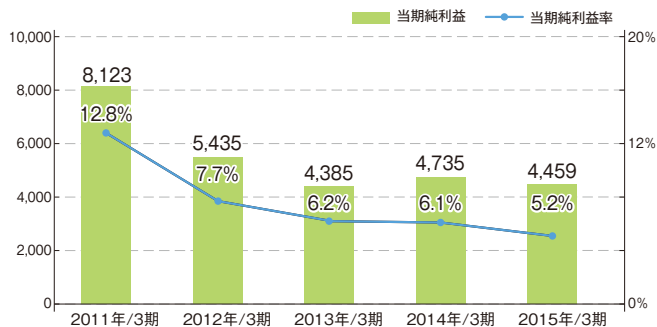
## ◆ 営業利益



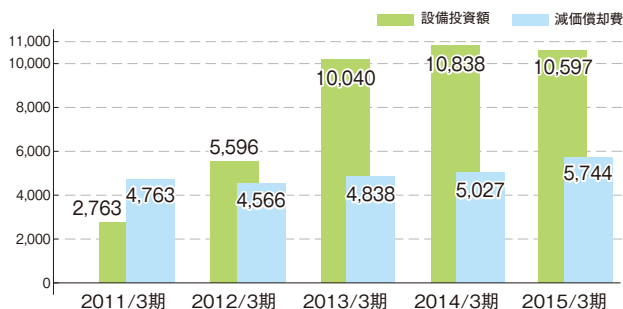
## ◆ 経常利益



## ◆ 当期純利益



## ◆ 設備投資額・減価償却費の推移



## ◆ 主要財務指標

	2012/3 末	2013/3 末	2014/3 末	2015/3 末	対前期末比
自己資本当期純利益率 (ROE)	20.7%	14.2%	13.1%	10.8%	△ 2.2P
自己資本比率	32.2%	36.3%	37.3%	37.4%	+0.1P
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	16,977	17,159	15,844	17,964	+2,119

次期連結会計年度の市場環境につきましては、主要産業分野である自動車産業は、国内においては4月からエコカー減税の厳格化や軽自動車税の増税などもあり、販売低迷が引き続き懸念されるものの、世界全体の自動車市場は堅調な推移が見込まれます。

また、非自動車分野の造船業界につきましては、足元の新造船受注量は減少傾向となっており本格的な回復にはなお時間を要するものと思われます。建設機械業界につきましては、鉱山機械の需要回復や中国市場の動向は依然不確定であるものの一部では底打ち感も見受けられます。その他、一般産業分野では、発電設備に使用される特殊軸受需要の堅調な推移が見込まれます。

当社グループは、引き続き中期経営計画に基づき、自動車用エンジン軸受のみならず、すべり軸受の全分野においてグローバルビジネスの拡大を推進するとともに、更なるコスト削減と利益創出に努めてまいります。

次期連結会計年度の通期の連結業績につきましては、下記を予想いたします。

単位：百万円（百万円未満四捨五入、比率は表示単位未満四捨五入）

連結 通期業績	【当期】 2015年3月期 (実績)	【次期】 2016年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	85,015	85,500	+484	+0.6%
営業利益 (営業利益率)	7,633 (9.0%)	8,000 (9.4%)	+366 -	+4.8% (+0.4P)
経常利益 (経常利益率)	8,129 (9.6%)	8,600 (10.1%)	+470 -	+5.8% (+0.5P)
当期純利益 (当期純利益率)	4,459 (5.2%)	5,300 (6.2%)	+840 -	+18.8% (+1.0P)

※次期想定為替レート：120円/米ドル、130円/ユーロ

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 配当について

当期の期末配当につきましては、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果「1株当たり10円」といたしたいと存じます。これにより、中間配当実績「1株当たり10円」を加えた当期の年間配当は「1株当たり20円」となります。

なお、次期の配当につきましては、当期より年間6円増配し、中間配当「1株当たり13円」、期末配当「1株当たり13円」の、年間配当「1株当たり26円」を予定しております。

	【前期】 2014年3月期	【当期】 2015年3月期	【次期】 2016年3月期
中間	7円	10円	予想 13円
期末	10円	10円	予想 13円
年間配当	17円	20円	予想 26円

## Stage1

2012年度～2014年度

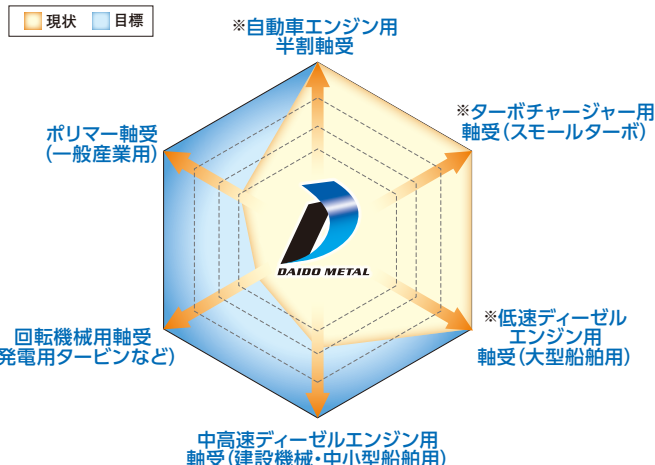
◆ 第1ステージ期間の重点テーマ



## Stage2

2015年度～2017年度

◆ すべり軸受全産業分野 世界シェア目標図



※：世界トップシェア（2014年暦年当社推定）



トップシェア実現のための事業基盤構築期間

第1ステージの総括

❖ グローバルベースでの事業基盤拡大の進捗状況

時期	拠点 及び 内容
2012年	ダイナメタルCO.,LTD. (タイ) 第3工場 完成
	大同精密金属(蘇州)有限公司 第2工場 完成
2013年	大同メタルチェコス. r.o. 第2工場 完成
	PT.大同メタルインドネシア 第2工場 完成
2014年	大同メタルメキシコS.A. DE C.V. 新工場 完成
	大同メタルメキシコ販売S.A. DE C.V. 設立
	欧州テクニカルセンター(チェコ) 設置

❖ 主な拡販・開拓内容

時期	内容
2012年	BMW社(ドイツ)より「3シリーズ」と「1シリーズ」に搭載する新型ディーゼルエンジン用軸受受注
2013年	アルストム社(フランス)と水力発電設備用スラストベアリングパッドの供給契約を締結
2014年	ボルボ社(スウェーデン)より新型のガソリン及びディーゼルエンジン用軸受を新たに受注

❖ 当社グループの業界グローバルシェア

	第1ステージ 2014年(暦年)実績	第2ステージ 最終目標値 (2017年度)
自動車エンジン用半割軸受 <b>TOP</b>	31.5%	40%
ターボチャージャー用軸受 (スモールターボ) <b>TOP</b>	34%	40%
低速ディーゼルエンジン用軸受 (大型船舶用) <b>TOP</b>	59%	60%
中高速ディーゼルエンジン用軸受 (建設機械・中小型船舶用)	22%	35%
回転機械用軸受 (発電用タービンなど)	5%	6%
ポリマー軸受(一般産業用)	12.4%	16%

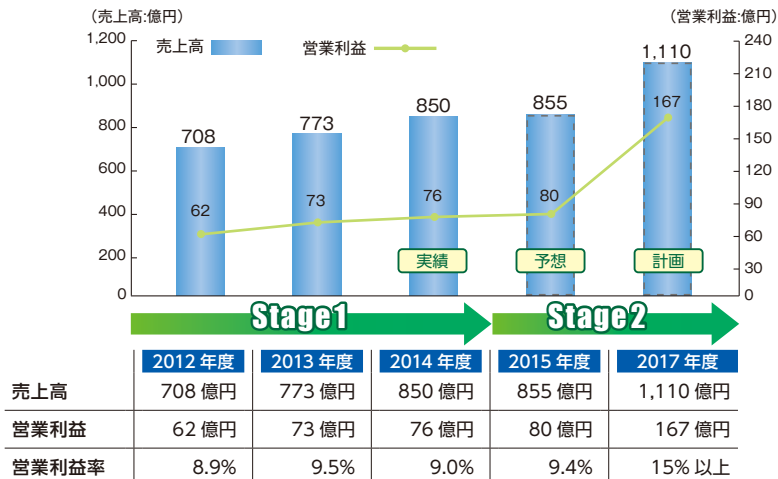
※ シェアは当社推定

すべり軸受の全産業分野で世界トップシェアを実現する

❖ 第2ステージ期間中における活動目標・計画

時期	拠点 及び 内容
2015年4月設立 (2016年6月稼働予定)	大同メタル佐賀(株)設立 軸受材料等工場
2015年度中 操業開始予定	自動車用エンジン軸受工場の 立上げ(インド)
2016年迄(予定)	自動車用エンジン軸受の 生産能力増強(韓国)
第2ステージ期間中	トラック用エンジン軸受事業の 立上げ(ロシア)
	メキシコ事業の早期黒字化

❖ 中期経営計画(Together To The Top)の経営目標



## 会社概要

(2015年3月31日現在)

設立	1939年(昭和14年)11月4日
資本金	7,273百万円
従業員数(正社員)	連結 4,321名 / 個別 1,185名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルancer機構)用軸受など</li> <li>●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など</li> <li>●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受、ロータリーポンプ、集中潤滑装置(工作機械用)、キャパシタ用電極シートなど</li> <li>●その他 金属系無潤滑軸受事業、不動産賃貸事業など</li> </ul>

本社	名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング13階
東京本社	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階

国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内) 前原工場(犬山事業所内) パイメタル製造所(犬山事業所内) 岐阜工場 TMBS工場(犬山事業所内) TMBS = Turbomachinery Bearing Systems (回転機械用特殊軸受)
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、浜松営業所、広島営業所、九州営業所、 ※北関東営業所(2015年4月1日開設)

関係会社	
●国内	<p>生産：大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社 大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社 ※大同メタル佐賀株式会社(2015年4月10日設立)</p> <p>販売：大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社 物流：大同ロジテック株式会社 不動産賃貸：株式会社アジアケルメット製作所</p>

●海外 (主な拠点)	<p>【アジア】 中原大同股份有限公司(台湾) 韓国ドライベアリング株式会社(韓国) 同晟金属株式会社(韓国) BBL大同プライベートLTD.(インド) ダイナメタルCO., LTD.(タイ) PT.大同メタルインドネシア(インドネシア)</p>
---------------	---

【中国】  
大同精密金属(蘇州)有限公司(中国)

【ヨーロッパ】  
大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(イギリス) 大同メタルチェコ s.r.o.(チェコ)  
大同メタルコントロールAD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD.(イギリス)  
大同メタルドイツ GmbH(ドイツ) 大同メタルロシア LLC(ロシア)

【北米】  
大同メタル U.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.(メキシコ)  
大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.(メキシコ)

## 役員

(2015年7月1日現在)

### 【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判治 誠吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	檜山 恒太郎
取締役 兼常務執行役員	佐々木 利行
取締役 兼常務執行役員	河村 康雄(昇任)
取締役 兼常務執行役員	井川 雅樹(昇任)
☆ 取締役	武井 敏一(新任)
常勤監査役	玉谷 昌明
☆ 監査役	田辺 邦子
☆ 監査役	松田 和雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

### 【執行役員】

上席執行役員	岡 戸 篤
上席執行役員	佐藤 善昭
上席執行役員	小暮 圭一
上席執行役員	吉田 秀雄
上席執行役員	三代 元之(昇任)
上席執行役員	宮脇 敏之(昇任)
執行役員	伊藤 吉明
執行役員	鬼頭 幸裕
執行役員	浅井 眞吾
執行役員	佐々木 秀明

## 株式事項 (2015年3月31日現在)

### ❖ 株式の状況

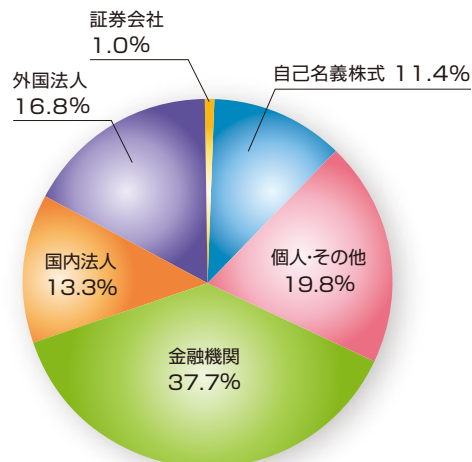
発行可能株式総数 80,000,000 株  
 発行済株式の総数 44,956,853 株 (自己株式 5,139,512 株を含む)  
 株主数 3,468 名

### ❖ 大株主

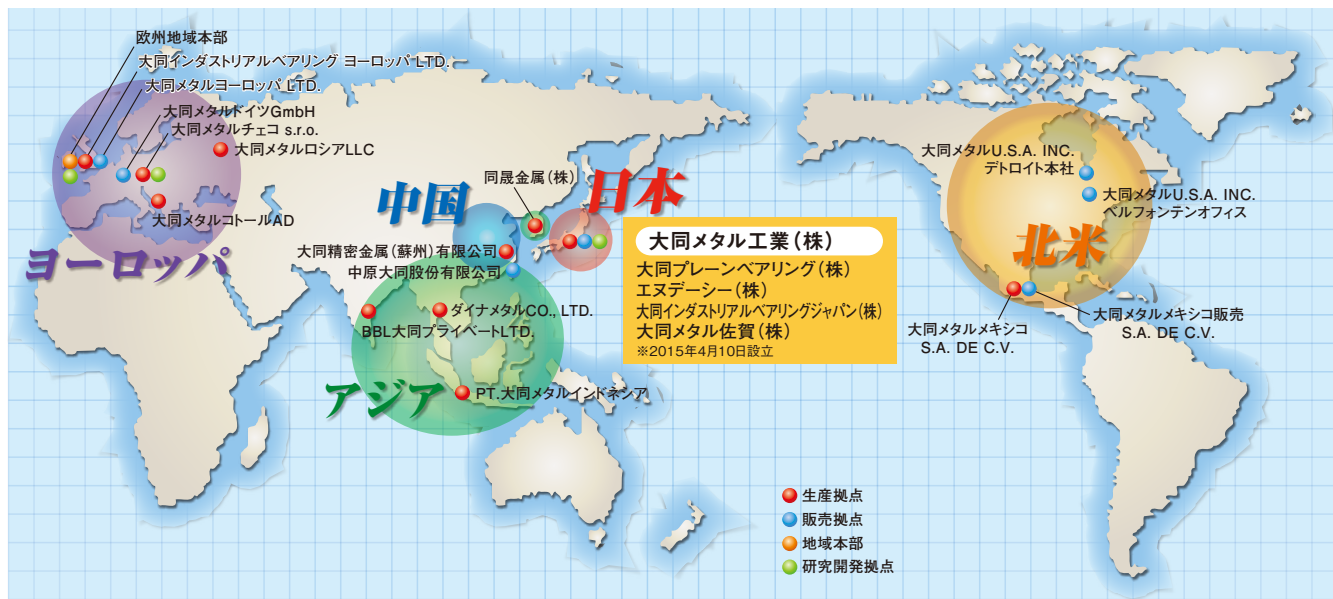
株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,046
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,928
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,653
大同メタル友学会持株会	1,183
ザセリワタナ イングストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
日新製鋼株式会社	909

(注)当社は自己株式5,139,512株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

### ❖ 所有者別株式保有状況



## グローバルネットワーク(主な拠点) (2015年3月31日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株（※平成27年1月1日より）	郵便物送付先  (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ ( <a href="http://www.daidometal.com/">http://www.daidometal.com/</a> ) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

## 株式に関する諸手続のご案内

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 上場株式等の配当等に係る軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1

株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)  
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00~17:00]

2

インターネットによる株式に関する諸手続きのご案内  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社

**DAIDO METAL**

<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した  
「植物油インキ」を  
使用しています。



適切に管理された森林で  
生産されたことを示す「FSC®」  
認証紙を使用しています。